取扱
説明書

パンチングラック UPR型

この度は、TRUSCOパンチングラックUPR型をお買い上げいただきまことにありがとうございます。本製品は、フレームセットに様々なオプションを取付ける事により、ご使用の工具や各部材・部品などの管理が見やすく、簡単に行えます。また、片面タイプはスペースの取らない壁面収納に、両面タイプはパーテーションを兼ねた収納に、ミニタイプは卓上の効率UPの収納に活用でき、一目で確認できる管理用ラックとして、幅広い分野で末永くご使用いただけます。

安全上のご注意（必ずお守り下さい。）

お使いになる人や、他の人への危害や財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただく内容を次の要領で説明しています。

⚠ 警告

誤った使いかたをすると「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容を説明しています。

■ラックに足をかけたり、乗ったりしない

ラックが転倒したり、積載物が落下したりして、怪我をする恐れがあります。

■側面や正面からの大きな力をかけない

ラックが破損・変形・転倒し、怪我をする恐れがあります。

■不安定な場所に設置しない

ラックが転倒したり、積載物が落下したりして、怪我をする恐れがあります。

■用途以外には使用しない

用途以外に使用しますと、怪我の原因になります。

⚠ 注意

誤った使いかたをすると「傷害または財産への損害が発生する可能性が想定される」内容を説明しています。

■屋外や水のかかる場所に設置しない。また、ぬれたものを置かない

ラックにサビが発生しやすくなり、強度等、品質が著しく低下する恐れがあります。

■製品に刃物等で傷をつけない

損傷部分に指などを引っ掛け、怪我をする恐れがあります。

■化学薬品や薬物を扱う作業には使用しない

腐食・変質などにより、ラックの品質が著しく低下し、作業者の健康を害する恐れがあります。

■組立は、この組立・取扱説明書に記載の組立て手順に従う

手順を誤ると組立中に部品が外れたり倒れたりして、怪我をする恐れがあります。

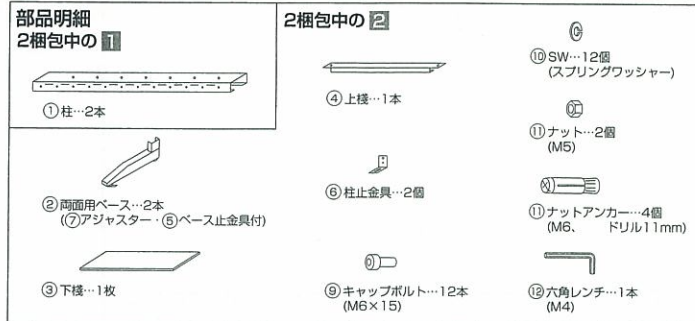
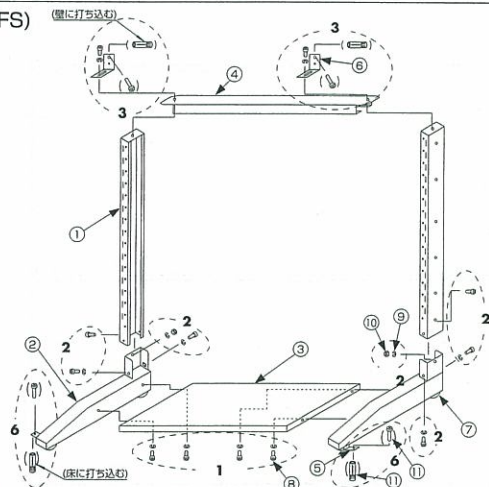
■ベース止金具・柱止金具を使って必ず設置する

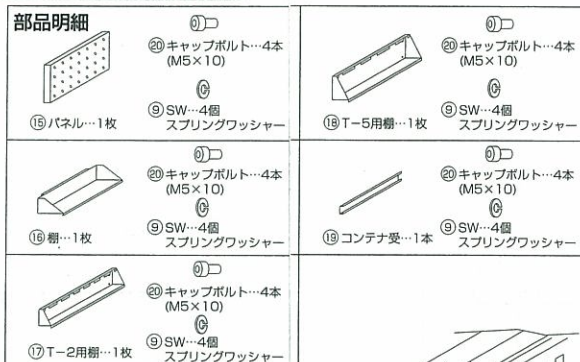
ラックが転倒し、収納物の落下を未然に防ぐ為に必ず使用のうえ、設置して下さい。

■ラックの切断、改造をしない

ラックが不安定になり、危険です。また、切断のバリ等で怪我をする恐れがあります。

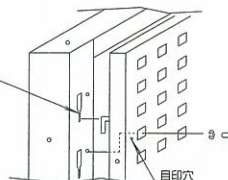
UPR型　パンチングラック 組立説明図

組み立てる前に梱包内容がすべて揃っているか、ご確認下さい。※万一不足の部品があった場合は、すぐに購入先へお知らせ下さい。

片面用(UPR-FS)

組立順序

1. ベース②の穴が2つある方を内側にして下棚③の穴の位置を合わせてキャップボルト⑧にSW⑨を入れて仮止めし、反対側も同様に仮止めする(計4ヶ所)。さらに仮止めしたキャップボルト⑧をもう一度六角レンチ⑫でしっかりと締付ける。
2. ベース②の角の部分に柱①を図のように差込み、前後はキャップボルト⑧にSW⑨を入れて仮止めし、横は外側からキャップボルト⑧を差込み、内側からSW⑨とナット⑩で仮止めする(計6ヶ所)。
3. 2.で組立てたものに上棧④、その上に柱止金具⑥を図のように乗せ(上棧の落下注意)柱①の穴を上棧④の穴と柱止金具⑥に合わせ、キャップボルト⑧にSW⑨を入れて仮止めする(2ヶ所)。
4. 2. 3.で仮止めしたキャップボルト⑧をもう一度六角レンチ⑫でしっかりと締付ける。
5. フレームセットの組立が終わると任意の場所に設置し、アジャスター⑦で水平調節を行い、全てのアジャスター⑦が床面に接地していることを確認する。
6. ベース止金具⑤を利用して床面に固定する(2ヶ所)。さらに柱止金具⑥を利用して本体が動かないように壁に固定する(2ヶ所)。

パネルの取付方法

注：片面に2枚以上のパネルを取付ける場合は必ず下から順番に取付ける。

(1) 組立てた本体の柱①の長穴にパネル⑮の爪4つを合わせて引っ掛ける。

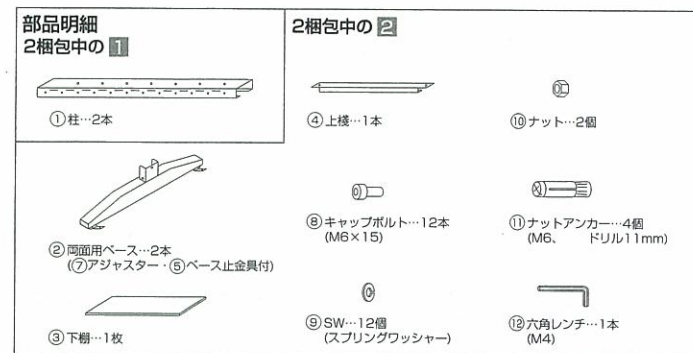
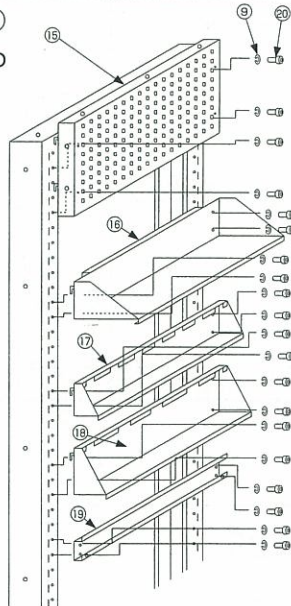
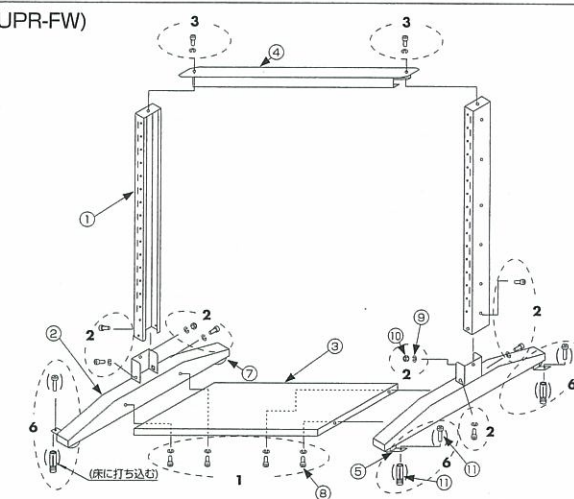
(2) パネル⑮に開いている目印穴の隣の穴から六角レンチ⑫でキャップボルト⑳を差込み、締付ける。　(4ヶ所)

棚、T−2用棚、T−5用棚の取付方法

(1) 組立てた本体の柱①の長穴に柱の爪2つを合わせて引っ掛ける。

(2) 棚の両側の穴から、キャップボルト⑳を差込み、六角レンチ⑫で締付ける。

(4ヶ所)

コンテナ受の取付方法

(1) 組立てた本体の柱①の穴にコンテナ受⑲の両側の穴を合わせ、キャップボルト⑳を差込み、六角レンチ⑫で締付ける(4ヶ所)。

両面用(UPR-FW)

組立順序

1. ベース②の穴が2つある方を内側にして下棚③の穴の位置を合わせてキャップボルト⑧にSW⑨を入れて仮止めし、反対側も同様に仮止めする(計4ヶ所)。さらに仮止めしたキャップボルト⑧をもう一度六角レンチ⑫でしっかりと締付ける。
2. ベース②の角の部分に柱①を図のように差込み、前後はキャップボルト⑧にSW⑨を入れて仮止めし、横は外側からキャップボルト⑧を差込み、内側からSW⑨とナット⑩で仮止めする(計6ヶ所)。
3. 2.で組立てたものに上棧④、その上に柱止金具⑥を図のように乗せ(上棧の落下注意)柱①の穴に合わせて、キャップボルト⑧にSW⑨を入れて仮止めする(2ヶ所)。
4. 2. 3.で仮止めしたキャップボルト⑧をもう一度六角レンチ⑫でしっかりと締付ける。
5. フレームセットの組立が終わると任意の場所に設置し、アジャスター⑦で水平調節を行い、全てのアジャスター⑦が床面に接地していることを確認する。
6. ベース止金具⑤を利用して本体が動かないように床面に固定する(4ヶ所)。

仕様

型　番	間口(W)×奥行(D)×高さ(H)mm	備　考
UPR-FS	900×430×1885	片面用
UPR-FW	900×600×1885	両面用

型　番	間口(W)×奥行(D)×高さ(H)mm	備　考
UPR-P450	900×33×450	パネル
UPR-T255	900×255×115	棚

型　番	間口(W)×奥行(D)×高さ(H)mm	備　考
UPR-C2	900×87×105	T-2用棚
UPR-C5	900×127×155	T-5用棚
UPR-C1	900×20×76	コンテナ受